

早いもので7月となり、1学期も終盤を迎えました。登校してくる1年生の足取りもしっかりしてきて、私にも笑顔であいさつをしてくれます。入学して3ヶ月ですが、成長を感じます。

一方、梅雨の時は、いささか不安定な状況も見られました。大きな問題が起きているというわけではないのですが、教師の目で見ると「心にゆるみが出ている」と感じる事が見られました。

例えば、廊下を走る、場にそぐわない大声、トイレのスリッパが並んでいない、忘れ物が多いなど。また、苦手な学習や気が向かないときには、いろんな理由を付けて回避しようとする子どももいます。甘えさせてばかりでは子どもの成長に大きな影響を及ぼすことを職員とも確認し、引き続き励まし、見守るよう指示したところ。ご家庭では、「気のゆるみ」や「甘え」は見られませんか？



## 喜々津っ子の心を見つめる教育週間 ご来校ありがとうございました！



6月20日から始まった、本校の「喜々津っ子の心を見つめる」教育週間が24日に終わりました。

この1週間で、普段はあまりお目にかかれぬお父さんなど、たくさんの方に来校していただきました。通常の授業の参観者はのべ123名、道徳の授業参観者数は305名でした。

来校された皆様には、「子どもの心を見つめる」ことはできたでしょうか？意欲的に学習に臨んでいる、友だちと仲良く過ごし、学校生活を楽しんでいることを確かめ、安心された

方々もおられる一方、我が子が学校生活の中で困ったり悩んだり、人に迷惑をかけたりしていないか、心配になった方もいらっしゃるかもしれません。この期間は、「我が子の教育は大丈夫か」、親として見つめなおす週間でもあったと思います。

教師にとっては、本当に子どもが見えているか、子どもたちに教師の思いが届いているか、再点検する教育週間でした。子どもたちも全校講話、道徳の授業、平和学習など、この期間を通して自分の心、相手の心を見つめる機会になったものと思います。

学級集会でも、子どもたちの心の成長について話し合いがなされたと思いますが、子どもを良く導くためには、学校と家庭との共通理解がなくては指導の効果も薄くなります。今後も、子どものために、担任と良く相談し合って教育効果を高めていただきたいと思います。



### 授業参観

道徳の授業では、各学年、命の大切さや友情について考える授業を行いました。

3年生は、「いのちのうた」という題材を取り上げ、海に浮いている毒を水ごと飲み込む母クジラの気持ちを話し合うことを通して、我が子を思う愛情の深さを感じ、命の大切さを学んでいました。

「自分の命にかえてでも子を守る」という思い、これは自分たち人間にも言えることだと考え、自分も親の深い愛情を受けて育ってきたことを回想している子どももいました。



### 平和学習

6月22日は、「ピースバトン・ナガサキ」の方々をお招きして、低・中・高学年別に、戦争中の生活、原爆の被害、核兵器廃絶などについて、映像を交えながら講話をしていただきました。また、平和に関する絵本や紙芝居の読み語りもあり、45分があつというまでした。最後の感想もたくさんの子どもが発表し、高い関心をもっていることがうかがえました。



### 雨の日のあとは

授業参観の前後は雨が多く、そのため、運動場には車の轍がたくさんできて、かなり荒れていました。次の日の朝、交通指導から戻って運動場に目をやると、6年生20名ほどがトンボをもって地面をならしていました。

全校のみんなためにもと思い、ボランティア精神で作業をしてくれたと思います。とても心温まる光景であり、ありがたかったです。

## 学校安心メールの会員登録を！



現在、学校からの緊急連絡は、「諫早市スクールネット」と「学校安心メール」の2本立てで配信しております。メール会員登録されていない方は、新型コロナウイルス感染などによる急な授業の短縮や学級閉鎖を知ることができません。

そこで先日、「学校安心メール」の登録案内文書を各世帯に配付しました。まだアプリのインストールまたは登録をされていない方は、早めに手

続きをお願いします。

2学期以降は、全学年または各学年保護者へのお知らせを「学校安心メール」に一本化したいと考えています。全世帯が会員登録していただければ、お子様に手渡しで配付していた紙文書も添付でき、スマホや携帯で、学校からの連絡をいつでもすぐ見られるようになります。

皆様のご協力をよろしく申し上げます。

## 子どもに付けたい力 「熱中（集中）すること」

何であれ、「物事に熱中（集中）することができる」のは素晴らしいことだと思います。私は、どちらかと言えば飽きっぽく淡泊な方なので、物事に熱中できる人を見ると、うらやましく思うこともあります。

先日は、こちらの呼びかけが届かないほど、趣味である園芸に没頭している人の姿に、声をかけるのも申し訳なく思えて、しばらく離れた所から見つめているということがありました。何だか、背中が「邪魔しないで」と言っているようにも感じました。

さて、喜々津小でも、子どもが黙々と作業をする、好きなことに集中している、一生懸命に問題を解いているなど、熱中（集中）した姿をたくさん見ます。そんな姿を目にすると、嬉しくて仕方ありません。同時に、全ての子どもに、一日に一回は、何かに熱中（集中）してほしいと思うところです。

